

2012年6月21日(木)

公益財団法人 日本サッカー協会
2012年度 第3回理事会

報告事項

1. F I F A総会 2012 の件

5月25日にF I F A総会 2012 がハンガリーで開催された。主な決定事項は以下のとおり。

(1) F I F Aガバナンスに関する改革

F I F Aのガバナンスに関する改革は、F I F A総会 2013 までの期間に全ての工程を完了させるものとし、このうち、F I F A総会 2012 では以下を決定した。

< F I F A規約の変更 >

以下の変更を決定した。決定は、即日(5月25日より)施行する。

①倫理委員会 (Ethics Committee)

調査機関と審議機関に分けることとする。

(各機関の委員長は、6月29日に開催されるF I F A臨時理事会にて決定する)

②監査・法令順守委員会 (Audit and Compliance Committee)

今までの監査委員会に、法令順守の責任を加え、監査・法令順守委員会とする。

初回の監査・法令順守委員長はDomenico Scala氏とする。

③行動規範 (Code of Conduct)

行動規範を承認した。

④F I F A加盟協会となる認定

現在は当該大陸連盟が承認した後2年を経過した後としているが、これを大陸連盟が承認直後とすることを決定した。

⑤各種委員会等メンバーの選出権について (理事会から総会への移行)

これまで理事会によって選出されていた裁定機関(規律委員会、倫理委員会、不服申立委員会)のメンバーおよび監査・法令順守委員会のメンバー、さらに女性理事について、今後はF I F A総会によって選出されることが承認された。

ただし、これら各メンバーについて、初回のメンバーを今回のF I F A総会で選出することが不可能なため、次回F I F A総会 2013 までの限定的な期間については、その任命権を一時に理事会に委譲することが確認された。

なお、その他の改革(ワールドカップ開催地の選定に関する権利を、理事会から総会に移行させること等)については、2013年までに完了させることが確認された。

(2) 女子サッカー界からの理事

上記に基づき、Lydia Nsekera (ブルンディ) が理事 (Co-opted) となることが確認された(5月21日F I F A理事会にて決定済み)。任期はF I F A総会 2013 までとする。

(3) 南スーダン協会の承認

上記F I F A規約の変更に基づき、南スーダン協会のF I F Aへの加盟が承認された。

(4) 新理事就任の正式承認

Jeffrey Webb (CONCACAF新会長) をF I F A副会長、Marco Polo del Nero (ブラジル) をF I F A理事に就任することを正式に承認した。

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(5)クラブ プロテクション プログラム (CPP) の承認 国際マッチデート (IMD) に行った試合に発生した怪我に対して、選手の所属クラブへの補償制度が承認された。 ①試合対象期間:2012年9月1日~2014年12月31日(但し、ロンドンオリンピック2012も対象とする) ②保 険 額:固定年俸を補償するもの。最大で1日当り約US\$27,000で、最大保険期間は365日</p> <p>(6)FIFAとノーベル平和センターとのパートナーシップ FIFAとノーベル平和センターが「平和への握手 (Handshake for Peace)」に署名した。</p> <p>(7)AEDの奨励 FIFA総会は、FIFA医学カンファレンスから要望された、世界的なAEDの活用を支持した。</p> <p>(8)2011財務諸表・2013予算 FIFA総会は、2011財務諸表・2013予算を承認した。2011財務諸表はUS\$36百万の余剰を計上した。</p> |
| <p>2. FIFA理事会の件</p> |
| <p>5月21日にFIFA理事会がハンガリーで開催された。主な決定事項は以下のとおり(FIFA総会2012への提案事項は割愛)。</p> <p>(1)FIFAコンフェデレーションズカップ ブラジル2013 ベニューとして、以下の6都市が決定した。 ①ブラジリア、②ベロ・ホリゾンテ、③フォルタレザ、④リオデジャネイロ、 ⑤レシーフェ、⑥サルバドール</p> <p>(2)U-20/U-17 2013大会の開催期間 以下に決定した。 ①FIFA U-20 ワールドカップ トルコ 2013 : 2013年6月21日~7月13日 ②FIFA U-17 ワールドカップ UAE 2013 : 2013年10月17日~11月8日</p> <p>(3)FIFAビーチサッカーワールドカップタヒチ2013 大陸別出場枠 以下に決定した。 AFC 3、CAF 2、CONCACF 2、CONMEBOL 3、OFC 1、UEFA 4、 タヒチ (ホスト国) 1</p> <p>(4)スタジアム内での花火の禁止 スタジアム内で花火の使用禁止とすることを決定した。</p> <p>(5)コソボ コソボと親善試合をすることを認めることを決定した。</p> |
| <p>3. 日本人指導者海外短期派遣の件</p> |
| <p>(報告) 資料No.1①②</p> <p>トルクメニスタンサッカー連盟 (TFF) 及び北マリアナ諸島サッカー協会 (NMIFA) からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として以下の指導者を短期間派遣する。</p> <p>(1)被派遣者 : 中村 恭平 (なかむら きょうへい) /43歳 派遣先協会 : トルクメニスタンサッカー連盟 (TFF)</p> |

| |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>T F F 役職 : トルクメニスタンフットサル代表チームアシスタントコーチ 派遣期間 : 5月23日～6月1日 A F Cフットサル選手権 (於U A E) にアシスタントコーチとして参加 費用負担 : [J F A] 日当及び傷害保険料、往復航空運賃 [T F F] 現地滞在費用 被派遣者略歴 : 添付別紙のとおり</p> <p>(2)被派遣者 : 鈴木 隣 (すずき ちかし) / 53 歳 派遣先協会 : 北マリアナ諸島サッカー協会 (N M I F A) N M I F A 役職 : 代表監督 (東アジア選手権一次予選に向けての準備と大会での指揮) 派遣期間 : 6月1日～7月16日 サイパン 7月17日～24日 グアム (東アジア選手権一次予選) 費用負担 : [J F A] 日当及び傷害保険料 [N M I F A] 往復航空運賃、現地滞在費用 被派遣者略歴 : 添付別紙のとおり</p> |
| <p>4. シンガポールサッカー協会 A F C コーチングライセンスコース受入れの件</p> |
| <p>シンガポール協会の要請により、アジア貢献の一環として、同協会の A F C プロディプロマライセンスコース・クラブアタッチメントセッションの日本開催を受け入れる。F C 東京、清水エスパルスの 2 クラブにご協力頂けることになった。詳細は以下の通り。</p> <p>期 間 : 7月3～19日 インストラクター : Erich Rutenmüller 氏 (D F B) 受講人数 : 18 名 コース概要 : 7月4～7日 F C 東京 アタッチメントプログラム 7月8日 移動日 7月9～14日 清水エスパルス アタッチメントプログラム 7月15～18日 レクチャー/指導実践 7月19日 帰国 宿 泊 : フォレストイン昭和館 (昭島市) 清水ナショナルトレーニングセンター (J - S T E P) 費用負担 : 全額シンガポール協会</p> |
| <p>5. 東アジア青少年大交流計画 (J E N E S Y S) の件</p> |
| <p>外務省及び日本国際協力センターの協力を得て、外務省の東アジア青少年大交流計画の事業として以下の通り実施する。</p> <p>(1) ミャンマーへの J F A アカデミー福島女子の派遣 (6月12日～19日) J F A アカデミー福島女子樋渡群監督、小林忍コーチ、選手 5 名合計 7 名に渡航頂き、ミャンマーサッカー連盟のコーチ、U16 女子代表チーム、女子アカデミーとの合同トレーニング、コーチングクリニック等を開催予定。</p> <p>(2) カンボジアへの J F A アカデミー福島男子の派遣 (7月21日～29日) カンボジアサッカー連盟の 2012 年末の寄宿制アカデミー開校を支援する取り組み。J F A アカデミー福島男子菊原志郎監督、中條智志アスレティックトレーナー、選手 15 名及び小</p> |

見佑貴レフェリー、計 18 名を派遣予定。カンボジア U16 代表との合同トレーニング、コーチングクリニック、審判クリニック、カンボジア U16 代表との親善試合を実施予定。

(3) 東ティモールへの大学選抜チーム派遣 (7 月 19 日～24 日)

建国 10 周年を記念して大学選抜チーム (1, 2 年生中心) を派遣、親善試合、交流を行う。選手役員合計 22 名。帰途シンガポールに立ち寄り、27 日まで滞在、シンガポール U17 代表チーム等と 2 試合行い 28 日に帰国予定。

6. 新潮社との裁判の判決

1. 本訴訟の概要

原告 財団法人 日本サッカー協会、川淵三郎、犬飼基昭

原告訴訟代理人弁護士：梓澤和幸、出口裕規、大城聡、倉地智広

被告 株式会社 新潮社 (代表取締役 佐藤隆信)

2. 訴訟の経緯

①2009 年 11 月 18 日『週刊新潮』が発売され、「旭日重光章受章でも川淵三郎が浴びたブーイング」と題して事実とは異なる記事が掲載された。

②2010 年 1 月 26 日 JFA、川淵キャプテン、犬飼会長 (当時) は、同記事が名誉棄損に当たるとして、その損害賠償等を求める民事訴訟を東京地方裁判所に提起。

③2010 年 3 月 16 日第 1 審

④2012 年 3 月 27 日最終口頭弁論期日 (結審)

⑤2012 年 5 月 29 日判決言い渡し

3. 判決内容

(1) 被告は、原告川淵三郎に対し、165 万円及びこれに対する平成 21 年 1 月 19 日から支払い済みまで年 5 分の割合による金員を支払え。

(2) 被告は、原告犬飼基昭に対し、110 万円及びこれに対する平成 21 年 1 月 19 日から支払い済みまで年 5 分の割合による金員を支払え。

(3) 原告財団法人日本サッカー協会の請求並びに原告川淵三郎及び原告犬飼基昭のその余の各請求をいずれも棄却する。

(4) 訴訟費用中、原告財団法人日本サッカー協会と被告との間に生じた部分は原告財団法人日本サッカー協会の負担とし、原告川淵三郎と被告との間に生じた部分はこれを 7 分し、その 6 を原告川淵三郎の、その余を被告の各負担とし、原告犬飼基昭と被告との間に生じた部分はこれを 10 分し、その 9 を原告犬飼基昭の、その余を被告の各負担とする。

(5) この判決の第 1 項及び第 2 項は、仮に執行することができる。

4. 判決に関する JFA の見解

判決では、『週刊新潮』の記事が川淵キャプテンと犬飼前会長に対する名誉棄損に当たることが認められ、勝訴となった。

新潮社による杜撰な取材が認められたことも評価している。真実であることが証明されない、また真実だと信じるに相当する理由 (真実相当性) もない、裏付け取材もしていないなど、虚偽の記事を掲載したことが明確に認められたことが、同様の報道の抑止力になることを期待したい。

7. 名義使用申請の件

(1)申請団体：一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

事業名：日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 デベロッパカップ 2012

主催：一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

主管：財団法人北海道サッカー協会、北海道クラブユースサッカー連盟
一般社団法人十勝地区サッカー協会（予定）

協賛：株式会社モルテン

協力：学校法人国際総合学園 JAPAN サッカーカレッジ

後援：公益財団法人日本サッカー協会、公益社団法人日本プロサッカーリーグ他

期間：8月17日（金）～23日（木）

会場：中札内村交流の杜

出場チーム：全国9地域代表16チーム

事業内容：ユース年代のサッカー技術の向上と健全な心身の育成、クラブチームの普及と発展のため。

(2)申請団体：一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

事業名：2012 中日本インターシティカップ（U-15）

主催：一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

共催：堺市、関西サッカー協会、一般社団法人大阪府サッカー協会

主管：関西クラブユースサッカー連盟、東海クラブユースサッカー連盟他

協賛：プーマジャパン株式会社

協力：株式会社ジャパン・スポーツ・プロモーション、関西学生サッカー連盟

後援：公益財団法人日本サッカー協会、公益社団法人日本プロサッカーリーグ

期間：8月12日（木）～19日（日）

会場：堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター

出場チーム：24チーム

事業内容：ユース年代の少年たちのサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームのさらなる発展を目的とする

(3)申請団体：一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

事業名：第8回 JCY インターシティカップ U-15 西日本大会

主催：一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟、中国クラブユースサッカー連盟他

主管：岡山県クラブユースサッカー連盟

協賛：株式会社モルテン、株式会社大塚製薬 他

後援：公益財団法人日本サッカー協会、公益社団法人日本プロサッカーリーグ他

期間：8月8日（水）～10日（金）

会場：美作サッカーラグビー場

出場チーム：西日本地区の各地域代表チーム16チーム

事業内容：ユース年代のサッカーの技術の向上と健全な心身の育成、クラブチームの普及と発展のため

8. 競技会開催申請の件

(1)申請団体：財団法人北海道サッカー協会

大会名：2012 日韓交流 U-12 ジュニアサッカー大会

主催：財団法人北海道サッカー協会

主管：財団法人北海道サッカー協会国際マッチ委員会

協力：札幌地区サッカー協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟、
NPO法人北海道スポーツクラブ

後援：北海道、公益財団法人北海道体育協会、札幌市

開催期日：8月17日（金）～19日（日）

会場：札幌サッカーアミューズメントパーク

参加チーム：韓国ソウル特別市選抜U-12、北海道代表U-12、札幌トレセンU-12、
コンサドーレ札幌U-12、道央ブロックトレセンU-12、十勝トレセンU-12

試合の種類：国際無料

(2)申請団体：社団法人新潟県サッカー協会

大会名：第16回国際ユースサッカーin新潟

主催：公益財団法人日本サッカー協会、北信越サッカー協会、他

共催：新潟県、新潟市、新発田市、アルビレックス新潟 他

主管：社団法人新潟県サッカー協会、国際ユースサッカーin新潟実行委員会

協力：キリンビバレッジ、モルテン、プーマジャパン

後援：新潟県体育協会、新潟市体育協会 他

開催期日：7月14日（土）～16日（月）

会場：東北電力ビッグスワンスタジアム 他

参加チーム：U17日本代表、U17メキシコ代表、U17ハンガリー代表、U17新潟県選抜

試合の種類：国際有料

入場料金：（前売り）大人 800円 中高生 400円

（当日） 大人 1,000円 中高生 500円

(3)申請団体：一般社団法人大阪府サッカー協会

大会名：河内長野招待少年サッカー大会

主催：河内長野市サッカー連盟、一般社団法人大阪府サッカー協会

主管：河内長野市サッカー連盟ジュニア委員会

協賛：大阪サッカークラブ、(株)モルテン、マクドナルド外環河内長野店

後援：河内長野市、河内長野市教育委員会、河内長野市総合スポーツ振興会
河内長野市国際交流協会、読売新聞社、報知新聞社

開催期日：7月14日（土）～15日（日）

会場：河内長野市赤峰市民広場/河内長野市立大師総合運動場

参加チーム：国内46チーム、国外（韓国）2チーム

試合の種類：国際無料

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9. 役員・審判員海外派遣の件 |
| <p>大会役員・審判員の国際試合派遣は以下のとおり。</p> <p>(役員)</p> <p>① AFC Champions League 2012 Group H アセター：上川 徹 期 間：4月29日～5月2日 場 所：杭州/中国</p> <p>② Refereeing Assistance Programme Seminar for FIFA referee instructors インストラクター：大岩 真由美 期 間：6月8日～13日 場 所：クアラルンプール/マレーシア</p> <p>(審判員)</p> <p>① AFC Champions League 2012 - Round 16 審判員：佐藤 隆治、名木 利幸、五十嵐 泰之、飯田 淳平 期 間：5月19日～24日 場 所：アブダビ/UAE</p> |
| 10. 日本サッカーミュージアムの件 |
| <p>(1)入場者数報告</p> <p>5月 3,585人 1日平均 132.8人 (2011年 4,442人 2010年 3,350人 2009年 4,191人 2008年 3,795人)</p> <p>(2)「2002FIFA ワールドカップ10周年記念トークショー」</p> <p>主 催：日本サッカーミュージアム 日 時：6月16日(土) 14:00～16:00 場 所：日本サッカーミュージアム ヴァーチャルスタジアム 出演者：小倉純二(2002FIFA ワールドカップ トーナメントダイレクター) 宮本恒靖(2002FIFA ワールドカップ日本代表選手) 上川 徹(2002、2006FIFA ワールドカップ主審) 廣嶋禎数(2006FIFA ワールドカップ副審) 大住良之(サッカージャーナリスト)</p> <p>参加費：500円(ミュージアム入場料)</p> <p>1階ヴァーチャルスタジアムにて、2002FIFA ワールドカップ10周年を記念して、関係者によるトークショーを開催する。アジアで初めて開催された2002年大会の意義と、初の共同開催となった日韓関係。日本代表チームがワールドカップで初めての勝ち点を獲得、初勝利がもたらしたものと。2002年大会が残した大いなる遺産と、その後の10年で日本サッカーはどう変わったのか。等を座談会形式で語る。</p> |
| 11. 海外遠征申請の件 |
| <p>(1) 一般財団法人全日本大学サッカー連盟</p> <p>チ ャーム 全日本大学選抜チーム (第1種) 遠征期間 7月18日(水)～28日(金) 遠 征 先 デイリ/東ティモール民主共和国</p> |

シンガポール/シンガポール共和国

- (2) 社団法人 宮城県サッカー協会
チー ム 常盤木学園高等学校 (女子)
遠征期間 7月3日(月)～7月23日(月)
遠 征 先 ブレイン/アメリカ
- (3) 財団法人 茨城県サッカー協会
チー ム 鹿島アントラーズジュニア (第4種)
遠征期間 7月20日(金)～7月26日(木)
遠 征 先 慶州/韓国
- (4) 公益財団法人 埼玉県サッカー協会
チー ム 武蔵丘短期大学シエンシア (女子)
遠征期間 8月6日(月)～8月17日(金)
遠 征 先 ロンドン/イギリス
- (5) 公益財団法人 東京都サッカー協会
チー ム 東京ヴェルディユース (第2種)
遠征期間 7月13日(金)～7月23日(月)
遠 征 先 イエーテボリ/スウェーデン
- (6) 公益財団法人 東京都サッカー協会
チー ム 東京U-12(東京都少年サッカー連盟選抜) (第4種)
遠征期間 7月25日(水)～8月1日(水)
遠 征 先 ベルリン/ドイツ
- (7) 社団法人 新潟県サッカー協会
チー ム アルビレックス新潟 (第3種)
遠征期間 7月26日(木)～7月30日(月)
遠 征 先 ソウル/韓国
- (8) 一般財団法人 静岡県サッカー協会
チー ム 掛川高校選抜チーム (第2種)
遠征期間 7月26日(木)～7月30日(月)
遠 征 先 ソウル/韓国
- (9) 一般財団法人 静岡県サッカー協会
チー ム 静岡トレーニングセンターU-12 (第4種)
遠征期間 7月30日(月)～8月1日(水)
遠 征 先 ソウル/韓国
- (10) 一般財団法人 静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県立島田商業高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 7月26日(木)～7月30日(月)
遠 征 先 ソウル/韓国
- (11) 一般財団法人 岐阜県サッカー協会
チー ム FC岐阜U-18 (第2種)
遠征期間 8月6日(月)～8月13日(月)

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>遠 征 先 台中市/チャイニーズタイペイ</p> <p>(12) 社団法人京都府サッカー協会</p> <p>チ ー ム 京都サンガF.C. U-12SP コース (第4種)</p> <p>遠征期間 5月25日(金)～28日(月)</p> <p>遠 征 先 水原/韓国</p> <p>(13) 一般社団法人大阪府サッカー協会</p> <p>チ ー ム 大阪府選抜U-18 (女子)</p> <p>遠征期間 7月6日(金)～11日(水)</p> <p>遠 征 先 上海/中国</p> <p>(14) 一般社団法人 大阪府サッカー協会</p> <p>チ ー ム 大阪府選抜U-12 (第4種)</p> <p>遠征期間 7月26日(木)～7月31日(火)</p> <p>遠 征 先 慶尚南道/韓国</p> <p>(15) 一般社団法人 徳島県サッカー協会</p> <p>チ ー ム 徳島ヴォルティスジュニアユース (第3種)</p> <p>遠征期間 7月23日(月)～7月27日(金)</p> <p>遠 征 先 昌原市/韓国</p> <p>(16) 一般社団法人 徳島県サッカー協会</p> <p>チ ー ム 徳島ヴォルティスユース (第2種)</p> <p>遠征期間 8月5日(日)～8月9日(木)</p> <p>遠 征 先 杭州・上海/中国</p> |
| <p>12. 標章使用申請の件</p> <p>(1) 申請団体： 財団法人 北海道サッカー協会 使用目的： 名刺作製 49名分 各100枚 / ホームページ</p> <p>(2) 申請団体： 一般社団法人 秋田県サッカー協会 使用目的： 名刺作製 37名分 各200枚</p> <p>(3) 申請団体： 特定非営利活動法人 山形県サッカー協会 使用目的： 名刺作製 3名分 各100枚</p> <p>(4) 申請団体： 一般財団法人 福島県サッカー協会 使用目的： 表彰状 A3版400枚、A4版200枚 名刺作製 30名分 各200枚</p> <p>(5) 申請団体： 一般社団法人 群馬県サッカー協会 使用目的： 名刺作製 19名分 各100枚</p> <p>(6) 申請団体： 一般社団法人 三重県サッカー協会 使用目的： 3種委員会 表彰状 200枚</p> <p>(7) 申請団体： 社団法人 山口県サッカー協会 使用目的： 各種大会賞状 40名分 100枚</p> <p>(8) 申請団体： 一般社団法人 高知県サッカー協会 使用目的： 名刺作製 29名分 各100枚</p> |

13. 第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会 概要の件

第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会の組み合わせが、天皇杯実施委員会（5/14開催）において以下の通り決定した。

<組み合わせ>

(報告) 資料No.2

<会場一覧（1回戦～3回戦）>

【1回戦】開催日：9月1日（土）、2日（日）

- ・北海道 9月1日 札幌厚別公園競技場
- ・青森 9月2日 十和田市高森山総合運動公園球技場
- ・岩手 9月2日 盛岡南公園球技場
- ・秋田 9月2日 秋田市八橋運動公園陸上競技場
- ・茨城 9月1日 笠松運動公園陸上競技場
- ・栃木 9月1日 栃木市総合運動公園陸上競技場
- ・群馬 9月1日 群馬県立敷島公園サッカーラグビー場
- ・山梨 9月1日 山梨中銀スタジアム
- ・石川 9月2日 石川県西部緑地公園陸上競技場
- ・福井 9月1日 テクノポート福井スタジアム
- ・三重 9月1日 三重県営鈴鹿スポーツガーデン サッカー・ラグビー場メインG
- ・滋賀 9月1日 東近江市布引運動公園陸上競技場（布引グリーンスタジアム）
- ・大阪 9月1日 キンチョウスタジアム
- ・奈良 9月2日 奈良県立橿原公苑陸上競技場
- ・和歌山 9月2日 桃源郷運動公園陸上競技場
- ・鳥取 9月2日 とりぎんバードスタジアム
- ・島根 9月1日 島根県立浜山公園陸上競技場
- ・岡山 9月2日 kanko スタジアム
- ・広島 9月2日 呉市総合スポーツセンター陸上競技場・サッカー場
- ・高知 9月2日 高知県立春野総合運動公園陸上競技場
- ・佐賀 9月2日 佐賀県総合運動場陸上競技場
- ・熊本 9月1日 熊本県民総合運動公園陸上競技場（KKWING）
- ・大分 9月1日 佐伯市総合運動公園陸上競技場
- ・宮崎 9月1日 宮崎市生目の杜運動公園陸上競技場

【2回戦】開催日：9月8日（土）、9日（日）

- ・北海道 9月8日 札幌厚別公園競技場
- ・宮城 9月8日 ユアテックスタジアム仙台
- ・山形 9月8日 NDソフトスタジアム山形
- ・茨城 9月8日 県立カシマサッカースタジアム
- ・栃木 9月8日 栃木県グリーンスタジアム
- ・埼玉 9月8日 浦和駒場スタジアム
- ・埼玉 9月9日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

- ・千葉 9月8日 日立柏サッカー場
- ・千葉 9月9日 フクダ電子アリーナ
- ・東京 9月9日 味の素スタジアム
- ・東京 9月9日 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
- ・東京 9月8日 味の素フィールド西が丘
- ・神奈川 9月8日 ニッパツ三ツ沢球技場
- ・神奈川 9月8日 等々力陸上競技場
- ・神奈川 9月8日 Shonan BMW スタジアム平塚
- ・山梨 9月8日 山梨中銀スタジアム
- ・長野 9月8日 松本平広域公園総合球技場
- ・新潟 9月9日 新潟市陸上競技場
- ・福井 9月8日 テクノポート福井スタジアム
- ・静岡 9月9日 ヤマハスタジアム（磐田）
- ・静岡 9月8日 アウトソーシングスタジアム日本平
- ・大阪 9月8日 万博記念競技場
- ・大阪 9月8日 キンチョウスタジアム
- ・兵庫 9月8日 姫路市立陸上競技場
- ・鳥取 9月9日 とりぎんバードスタジアム
- ・岡山 9月9日 kanko スタジアム
- ・広島 9月8日 福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場
- ・徳島 9月8日 鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム
- ・福岡 9月9日 レベルファイブスタジアム
- ・佐賀 9月9日 ベストアメニティスタジアム
- ・熊本 9月8日 熊本県民総合運動公園陸上競技場（KKWING）
- ・大分 9月9日 大分銀行ドーム

【3回戦】開催日：10月10日（水）

- ・北海道 札幌厚別公園競技場
- ・宮城 ユアテックスタジアム仙台
- ・茨城 県立カシマサッカースタジアム
- ・埼玉 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
- ・千葉 日立柏サッカー場
- ・神奈川 日産スタジアム
- ・神奈川 等々力陸上競技場
- ・新潟 東北電力ビッグスワンスタジアム理由
- ・富山 富山県総合運動公園陸上競技場
- ・静岡 ヤマハスタジアム（磐田）
- ・静岡 アウトソーシングスタジアム日本平
- ・大阪 万博記念競技場
- ・大阪 キンチョウスタジアム

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫 ホームズスタジアム神戸 ・広島 広島ビッグアーチ ・佐賀 佐賀県総合運動場陸上競技場 |
| 14. | JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件 |
| | <p>（更新）</p> <p>公認申請者：岡山県高梁市（たかはしし）</p> <p>施設名：神原スポーツ公園多目的広場</p> <p>施設所有者：高梁市長 近藤 隆則（こんどう たかのり）</p> <p>ロングパイル人工芝：モンドターフ Monofibre AE60（51277100） / クリヤマ(株)</p> <p>公認期間：2012年5月14日～2015年5月13日</p> <p>公認番号：第85号</p> <p><特記事項></p> <p>公認規程に基づき1回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。</p> |
| 15. | 2012年サッカー1級審判員認定の件 |
| | <p>審判委員会で認定審査を実施し、以下の1名をサッカー1級審判員として認定した。</p> <p>氏 名：Michael Assefaw Gebreslassie</p> <p>生年月日：1983年1月1日</p> |
| 16. | 2011年度 公認S級コーチ養成講習会判定結果の件 |
| | <p>全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記2名を公認S級コーチとして認定する。</p> <p>氏 名：齊藤 俊秀（さいとう としひで）</p> <p>指導チーム：藤枝 MYFC（JFL）</p> <p>生年月日：1973年4月20日（39歳）</p> <p>資 格：2010年 A級ライセンス</p> <p>指 導 歴：2009年3月～2009年8月 藤枝 MYFC（ヘッドコーチ）</p> <p style="padding-left: 40px;">2009年8月～現在 藤枝 MYFC（監督）</p> <p>氏 名：秋庭 武彦（あきば たけひこ）</p> <p>指導チーム：三菱養和サッカークラブ</p> <p>生年月日：1963年7月1日</p> <p>資 格：2005年 A級ライセンス</p> <p>指 導 歴：1989年～三菱養和サッカースクール コーチ</p> <p style="padding-left: 40px;">1995年～三菱養和サッカークラブ単嶋ジュニアユース 監督</p> <p style="padding-left: 40px;">2001年～三菱養和サッカークラブユース 監督</p> <p style="padding-left: 40px;">2003年～三菱養和サッカースクール チーフコーチ</p> <p style="padding-left: 40px;">2008年～三菱養和サッカークラブ調布ジュニアユース 監督</p> <p style="padding-left: 40px;">2011年～三菱養和サッカースクール チーフコーチ ～現在</p> <p>現 S 級コーチライセンス保持者数：353名（上記2名含む）</p> <p>※ 2011年度公認 S 級コーチ認定者数：8名/21名（上記2名含む）</p> |

| | |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 17. | 2011年度 公認 GK-A 級コーチ養成講習会判定結果の件 |
| | 2011年度 公認 GK-A 級コーチ養成講習会の合格者は、以下の5名とする。 神戸 昌宏、監物 政希、嶋田 正照、寺峰 輝、前田 信弘 (50音順) |
| 18. | 2012年ユースディベロップメント体制男子(関東)の件 |
| | (報告) 資料No.3 木村浩吉氏のラオス代表監督就任に伴い、2012 ユースディベロップメント体制[男子]について別紙のとおり変更する。 |
| 19. | 日本代表 キリンチャレンジカップ 2012 の件 |
| | 行事名：日本代表 キリンチャレンジカップ 2012 期 間：5月21日(月)～23日(水) 場 所：静岡県袋井市 |
| | [スケジュール] |
| | 5月21日 (月) 集合、トレーニング |
| | 5月22日 (火) 公式練習 |
| | 5月23日 (水) キリンチャレンジカップ 2012 日本代表 vs. アゼルバイジャン代表 ○2-0 (1-0) |
| | [スタッフ] |
| | 監 督 アルベルト・ザッケローニ (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | コーチ ステファノ・アグレステイ (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | アシスタントコーチ 和田 一郎 (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | GK コーチ マウリツィオ・グアイド (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | フィジカルコーチ エウジニオ・アルバレラ (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | コンディショニングコーチ 早川 直樹 (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | ドクター 池田 浩 (公益財団法人日本サッカー協会スポーツ医学委員会/ 順天堂大学附属順天堂医院) |
| | アスレティックトレーナー 前田 弘 (公益財団法人日本サッカー協会) |
| | アスレティックトレーナー 池内 誠 (フリー) |
| | アスレティックトレーナー 菊島 良介 (公益財団法人日本サッカー協会) |
| | 通訳 矢野 大輔 (公益財団法人日本サッカー協会) |
| | 総 務 津村 尚樹 (公益財団法人日本サッカー協会代表チーム部) |
| | メディアオフィサー 加藤 秀樹 (公益財団法人日本サッカー協会広報部) |
| | チームメラン 松田 利幸 (公益財団法人日本サッカー協会広報部) |
| | 宿泊・輸送 原川 剛 (西鉄旅行(株)) |
| | キットマネージャー 山根 威信 (アディダス ジャパン(株)) |
| | キットスタッフ 麻生 英雄 (アディダス ジャパン(株)/ (株) BOTTOM UP) |
| | [選 手] |
| | GK 川島 永嗣 (リールセ SK(ベルギー)) |

| | | |
|----|------------------------|----------------------|
| DF | 西川 周作 | (サンフレッチェ広島) |
| | 権田 修一 | (FC 東京) |
| | 駒野 友一 | (ジュビロ磐田) |
| | 栗原 勇蔵 | (横浜 F・マリノス) |
| | 徳永 悠平 | (FC 東京) |
| | 伊野波 雅彦 | (ヴィッセル神戸) |
| | 長友 佑都 | (インテル・ミラノ(イタリア)) |
| | 槇野 智章 | (浦和レッズ) |
| | 内田 篤人 | (FC シャルケ 04(ドイツ)) |
| | 酒井 宏樹 | (柏レイソル) |
| MF | 中村 憲剛 | (川崎フロンターレ) |
| | 長谷部 誠 | (VfL ヴォルフスブルグ(ドイツ)) |
| | 細貝 萌 | (FC アウクスブルグ(ドイツ)) |
| | 本田 圭佑 | (CSKA モスクワ(ロシア)) |
| | 高橋 秀人 | (FC 東京) |
| | 長谷川アリアジ ^{ャスル} | (FC 東京) |
| FW | 前田 遼一 | (ジュビロ磐田) |
| | 岡崎 慎司 | (VfB シュトゥットガルト(ドイツ)) |
| | 森本 貴幸 | (ノバーラ(イタリア)) |
| | 香川 真司 | (ボルシア・ドルトムント(ドイツ)) |
| | 原口 元気 | (浦和レッズ) |
| | 宮市 亮 | (ボルトン(イングランド)) |

計 23 名

20. U-23 (ロンドンオリンピック 2012) 日本代表 トゥーロン国際大会の件

行事名 : U-23 (ロンドンオリンピック 2012) 日本代表 トゥーロン国際大会

期 間 : 5月 20日 (日) ~ 6月 3日 (日)

場 所 : フランス / トゥーロン

[スケジュール]

5月 20日 (日) 集合・トレーニング

5月 21日 (月) 出発・現地着・トレーニング

5月 22日 (火) トレーニング

5月 23日 (水) 予選リーグ第1戦 vs. トルコ代表 ●0-2(0-0)

5月 24日 (木) トレーニング

5月 25日 (金) 予選リーグ第2戦 vs. オランダ代表 ○3-2(1-1)

5月 26日 (土) トレーニング

5月 27日 (日) 予選リーグ第3戦 vs. エジプト代表 ●2-3(0-2)

5月 28日 (月) 現地発

5月 29日 (火) 帰国・解散

[スタッフ]

監督

関塚 隆

(公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

| | | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| コーチ | 小倉 勉 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| GK コーチ | 藤原 寿徳 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| フィジカルコーチ | 里内 猛 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| アシスタントコーチ | 武藤 覚 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| ドクター | 御園生 剛 | (筑波学園病院) |
| アスレティックトレーナー | 後関 慎司 | (公益財団法人日本サッカー協会 /東京スポーツ・レクリエーション専門学校) |
| アスレティックトレーナー | 堀田 泰史 | (公益財団法人日本サッカー協会) |
| 技術委員 | 霜田 正浩 | (公益財団法人日本サッカー協会技術委員) |
| 総務 | 本間 一憲 | (公益財団法人日本サッカー協会代表チーム部) |
| メディアオフィサー | 辻上 裕章 | (公益財団法人日本サッカー協会広報部) |
| キットマネージャー | 橋倉 剛 | (アディダス ジャパン(株)) |
| [選 手] | | |
| GK | 増田 卓也 | (サンフレッチェ広島) |
| | 安藤 駿介 | (川崎フロンターレ) |
| DF | 比嘉 祐介 | (横浜F・マリノス) |
| | 大岩 一貴 | (ジェフユナイテッド千葉) |
| | 山村 和也 | (鹿島アントラーズ) |
| | 鈴木 大輔 | (アルビレックス新潟) |
| | 吉田 豊 | (清水エスパルス) |
| | 濱田 水輝 | (浦和レッズ) |
| | 酒井 高德 | (VfB シュトゥットガルト/ドイツ) |
| MF | 山本 康裕 | (ジュビロ磐田) |
| | 村松 大輔 | (清水エスパルス) |
| | 水沼 宏太 | (サガン鳥栖) |
| | 東 慶悟 | (大宮アルディージャ) |
| | 扇原 貴宏 | (セレッソ大阪) |
| | 宇佐美 貴史 | (FC バイエレン・ミュンヘン/ドイツ) |
| | 高木 善朗 | (FC ユトレヒト/オランダ) |
| FW | 大津 祐樹 | (ボルシア MG/ドイツ) |
| | 齋藤 学 | (横浜F・マリノス) |
| | 大迫 勇也 | (鹿島アントラーズ) |
| | 指宿 洋史 | (セビリア・アトレティコ/スペイン) |
| 計 20 名 | | |
| 21. | U-18 (U-20 ワールドカップ 2013 トルコ) 日本代表 スロバキア遠征の件 | |
| | 行事名 : U-18 (U-20 ワールドカップ 2013 トルコ) 日本代表 スロバキア遠征 TIPOS SLOVAKIA CUP2012 | |

期 間：4月20日（金）～29日（日）

場 所：スロバキア／トレンチーン

[スケジュール]

4月20日（金） 集合
 4月21日（土） 日本発、現地着
 4月22日（日） トレーニング
 4月23日（月） Vs U-18 ノルウェー代表 1-1 △
 4月24日（火） Vs U-18 チェコ代表 0-1 ●
 4月25日（水） トレーニング
 4月26日（木） Vs U-18 ポーランド代表 1-0 ○
 4月27日（金） Vs U-18 ウクライナ代表 2-4 ●
 4月28日（土） 現地発
 4月29日（日） 帰国解散

[スタッフ]

| | | |
|--------------|-------|----------------------------------|
| 監 督 | 吉田 靖 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナル コーチング スタッフ) |
| コーチ | 山橋 貴史 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチング スタッフ) |
| GK コーチ | 浜野 征哉 | (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチング スタッフ) |
| ドクター | 島川 朋享 | (浦添総合病院) |
| アスレティックトレーナー | 松尾谷 泰 | (フリー) |
| テクニカルスタッフ | 片桐 央視 | (公益財団法人日本サッカー協会テクニカルハウス) |
| 総務 | 添田 貢広 | (公益財団法人日本サッカー協会 代表チーム部) |

[選 手]

| | | |
|----|-----------|----------------------|
| GK | 鈴木 椋大 | (横浜 F・マリノス) |
| | 阿波加俊太 | (コンサドーレ札幌 U-18) |
| DF | 諸石 健太 | (桐光学園高等学校) |
| | 吉野 恭平 | (東京ヴェルディユース) |
| | 新井 純平 | (浦和レッズユース) |
| | ハーフナー・ニッキ | (名古屋グランパス U18) |
| | 内田 裕斗 | (ガンバ大阪ユース) |
| MF | 飯干 雄斗 | (JFA アカデミー福島) |
| | 小塚 和季 | (帝京長岡高等学校) |
| | 平田 惇 | (サンフレッチェ広島 F.C. ユース) |
| | 喜田 拓也 | (横浜 F・マリノスユース) |
| | 二瓶 翼 | (F.C. 東京 U-18) |
| | 福本 将也 | (東福岡高等学校) |
| | 中川 寛斗 | (柏レイソル U-18) |
| FW | 松本 昌也 | (JFA アカデミー福島) |
| | 浅野 拓磨 | (三重県立四日市中央工業高等学校) |
| | 中山 雄季 | (大宮アルディージャユース) |
| | 石田 雅俊 | (船橋市立船橋高等学校) |

| | | |
|-----|---------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| | 田村 亮介 | (京都サンガ F. C. U-18) |
| | 宮市 剛 | (中京大学附属中京高等学校) |
| | | 計 20 名 |
| 22. | U-17 日本女子代表 スペイン遠征の件 | |
| | 行事名：U-17 日本女子代表海外遠征 6 月 | |
| | 期 間：6 月 3 日(日)～11 日(月) | |
| | 場 所：スペイン/マドリード | |
| | [スケジュール] | |
| | 6 月 3 日 | (日) PM 集合・前泊 |
| | 6 月 4 日 | (月) AM 出発 PM 現地着 |
| | 6 月 5 日 | (火) AM トレーニング PM トレーニング |
| | 6 月 6 日 | (水) AM トレーニング PM 練習試合 |
| | 6 月 7 日 | (木) AM トレーニング PM 練習試合 |
| | 6 月 8 日 | (金) AM トレーニング PM 練習試合 |
| | 6 月 9 日 | (土) AM トレーニング PM トレーニング |
| | 6 月 10 日 | (日) AM 現地発 |
| | 6 月 11 日 | (月) AM 成田着・解散 |
| | [スタッフ] | |
| | 団 長 | 上田 栄治 ^{※2} (公益財団法人日本サッカー協会理事/女子委員長) |
| | 監 督 | 吉田 弘 ^{※1} (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | コーチ | 高倉 麻子 (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | GK コーチ | 前田 信弘 (公益財団法人日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) |
| | ドクター | 中村 香織 (佐久総合病院) |
| | アスレティックトレーナー | 山口 由美子 (関西医療大学) |
| | テクニカルスタッフ | 能仲 太司 (チーム「ニッポン」マルチサポート事業) |
| | 総 務 | 宮崎 英津子 ^{※2} (公益財団法人日本サッカー協会代表チーム部) |
| | 総 務 | 大富部 佳奈子 (公益財団法人日本サッカー協会代表チーム部) |
| | ※16 月 5 日～チーム合流 (U-20FIFA 女子ワールドカップドローのため) | |
| | ※26 月 6 日～チーム合流 (U-20FIFA 女子ワールドカップドロー他のため) | |
| | [選 手] | |
| | GK | 井上 ねね (JFA アカデミー福島) |
| | | 平尾 知佳 (JFA アカデミー福島) |
| | DF | 松原 有沙 (大商学園高等学校) |
| | | 石井 咲希 (浦和レッズレディースユース) |
| | | 長町 優里 (岡山湯郷 B e l l e) |
| | | 乗松 瑠華 (JFA アカデミー福島) |
| | | 土光 真代 (日テレ・ベレーザ) |
| | | 清水 梨紗 (日テレ・メニーナ) |
| | | 小島 美玖 (JFA アカデミー福島) |

| | | |
|----|--------|-----------------|
| MF | 万屋 美穂 | (日ノ本学園高等学校) |
| | 井上 綾香 | (河内 SC ジュベニール) |
| | 成宮 唯 | (JFA アカデミー福島) |
| | 中村 みづき | (浦和レッズレディースユース) |
| | 伊藤 美紀 | (常盤木学園高等学校) |
| | 野口 彩佳 | (十文字高等学校) |
| | 隅田 凜 | (日テレ・ベレーザ) |
| | 榎木 結花 | (日テレ・ベレーザ) |
| FW | 長谷川 唯 | (日テレ・メニーナ) |
| | 佐々木 美和 | (常盤木学園高等学校) |
| | 増矢 理花 | (JFA アカデミー福島) |
| | 白木 星 | (常盤木学園高等学校) |

計 21 名

23. フットサル日本代表 中国遠征の件

行事名：フットサル日本代表 中国遠征

期 間：5月7日(月)～14日(月)

場 所：中国/杭州

[スケジュール]

| | | |
|-------|-----|-----------------------|
| 5月7日 | (月) | AM 集合 PM トレーニング |
| 5月8日 | (火) | AM トレーニング PM トレーニング |
| 5月9日 | (水) | AM 成田出発 PM トレーニング |
| 5月10日 | (木) | AM トレーニング PM トレーニング |
| 5月11日 | (金) | vs. ルーマニア代表 △3-3(0-1) |
| 5月12日 | (土) | vs. イラン代表 △2-2(0-2) |
| 5月13日 | (日) | vs. 中国代表 ●2-3(0-2) |
| 5月14日 | (月) | PM 現地発 成田着 解散 |

[スタッフ]

| | | |
|--------------|------------|---------------------------------|
| 監 督 | ミゲル・トリゴ | (公益財団法人日本サッカー協会) |
| フィジカルコーチ | エンリケ・イバニェス | (公益財団法人日本サッカー協会) |
| フィジカルコーチ | 村岡 誠 | (フリーフィジカルコーチ) ※～5/8 |
| コーチ兼通訳 | 在原 正明 | (公益財団法人日本サッカー協会/東急スポーツシステム株式会社) |
| コーチ兼通訳 | 小森 隆弘 | (公益財団法人日本サッカー協会/東急スポーツシステム株式会社) |
| ドクター | 山口 徹 | (群馬スポーツ医学研究所) |
| アスレティックトレーナー | 大岡 茂 | ((株)R-body project) |
| 総 務 | 倉田 研太郎 | (公益財団法人日本サッカー協会 技術部) |

[選 手]

| | | |
|----|--------|----------------|
| GK | 川原 永光 | (名古屋オーシャンズ) |
| | 富金原 徹 | (デウソン神戸) |
| FP | 木暮 賢一郎 | (名古屋オーシャンズ) |
| | 上澤 貴憲 | (府中アスレティック FC) |

| | |
|------------|-------------------------|
| 小宮山 友祐 | (バルドラル浦安) |
| 村上 哲哉 | (シュライカー大阪) |
| 高橋 健介 | (名古屋オーシャンズ) |
| 北原 亘 | (名古屋オーシャンズ) |
| 稲葉 洸太郎 | (バルドラル浦安) |
| 小曾戸 允哉 | (バサジィ大分) |
| 星 翔太 | (Al-Rayyan Qatarī/カタール) |
| 滝田 学 | (ペスカドーラ町田) |
| 仁部屋 和弘 | (バサジィ大分) |
| 逸見 勝利ラファエル | (名古屋オーシャンズ) |

計 14 名

24. フットサル日本代表国内トレーニングキャンプ及びAFCフットサル選手権UAEの件

行事名：フットサル日本代表 国内トレーニングキャンプ及びAFCフットサル選手権UAE

期 間：5月17日(木)～6月2日(土)

場 所：愛知/名古屋市、UAE

[スケジュール]

| | | |
|-------|-----|-----------------------------|
| 5月17日 | (木) | PM集合、トレーニング |
| 5月18日 | (金) | AMトレーニング PMトレーニング |
| 5月19日 | (土) | AMトレーニング PMトレーニング |
| 5月20日 | (日) | AMトレーニング PMトレーニング |
| 5月21日 | (月) | AMトレーニング PMトレーニング |
| 5月22日 | (火) | AMトレーニング PM 出発 |
| 5月23日 | (水) | AM現地着 PM トレーニング |
| 5月24日 | (木) | AMトレーニング PMトレーニング |
| 5月25日 | (金) | vs. レバノン代表 ○3-2(2-1) |
| 5月26日 | (土) | vs. タジキスタン代表 ○6-1(4-1) |
| 5月27日 | (日) | vs. チャイニーズタイペイ代表 ○6-1(1-1) |
| 5月28日 | (月) | トレーニング |
| 5月29日 | (火) | 準々決勝 vs. キルギスタン代表 ○1-0(1-0) |
| 5月30日 | (水) | 準決勝 vs. オーストラリア代表 ○3-0(0-0) |
| 5月31日 | (木) | トレーニング |
| 6月1日 | (金) | 決勝 vs. タイ代表 ○6-1(2-1) |
| 6月2日 | (土) | 現地発 成田着 解散 |

[スタッフ]

| | | |
|----------|------------|----------------------|
| 団 長 | 大仁 邦彌 | (公益財団法人日本サッカー協会 副会長) |
| 監 督 | ミゲル・トリゴ | (公益財団法人日本サッカー協会) |
| フィジカルコーチ | エンリケ・イバニェス | (公益財団法人日本サッカー協会) |
| フィジカルコーチ | 村岡 誠 | (フリーフィジカルコーチ) ※～5/22 |

| | | |
|--------------------------------|------------|---------------------------------|
| コーチ兼通訳 | 在原 正明 | (公益財団法人日本サッカー協会/東急スポーツシステム株式会社) |
| コーチ兼通訳 | 小森 隆弘 | (公益財団法人日本サッカー協会/東急スポーツシステム株式会社) |
| ドクター | 土井 俊 | (浜松南病院) ※5/19～ |
| ドクター | 山口 徹 | (群馬スポーツ医学研究所) ※～5/19 |
| アスレティックトレーナー | 佐保 豊 | (スポーツセーフティジャパン) |
| 総務 | 倉田 研太郎 | (公益財団法人日本サッカー協会 技術部) |
| [選手] | | |
| GK | 川原 永光 | (名古屋オーシャンズ) |
| | 富金原 徹 | (デウソン神戸) |
| | 藤原 潤 | (バルドラール浦安) |
| FP | 木暮 賢一郎 | (名古屋オーシャンズ) |
| | 小宮山 友祐 | (バルドラール浦安) |
| | 村上 哲哉 | (シュライカー大阪) |
| | 高橋 健介 | (名古屋オーシャンズ) |
| | 北原 亘 | (名古屋オーシャンズ) |
| | 稲葉 洸太郎 | (バルドラール浦安) |
| | 小曾戸 允哉 | (バサジィ大分) |
| | 星 翔太 | (Al-Rayyan Qatarī/カタール) |
| | 滝田 学 | (ペスカドーラ町田) |
| | 仁部屋 和弘 | (バサジィ大分) |
| | 逸見 勝利ラファエル | (名古屋オーシャンズ) |
| 計 14 名 | | |
| 25. ビーチサッカー日本代表候補 トレーニングキャンプの件 | | |
| 行事名：ビーチサッカー日本代表候補 トレーニングキャンプ | | |
| 期 間：4月24日(火)～27日(金) | | |
| 場 所：沖縄/宜野湾市北谷 | | |
| [スケジュール] | | |
| 4月24日 | (火) | AM 集合 PM トレーニング |
| 4月25日 | (水) | AM トレーニング PM トレーニング |
| 4月26日 | (木) | AM トレーニング PM トレーニング |
| 4月27日 | (金) | AM トレーニング PM 解散 |
| [スタッフ] | | |
| 監督 | ラモス 瑠偉 | (公益財団法人日本サッカー協会) |
| コーチ | オスマール | (東京レキオス BS) |
| ドクター | 新城 宏隆 | (琉球大学) |
| アスレティックトレーナー | 田中 祐介 | (三宅スポーツマッサージ) |
| 総務 | 小野 仁久 | (公益財団法人日本サッカー協会 代表チーム部) |
| [選手] | | |
| GK | 加登 永一 | (テハモール) ※追加招集 |
| | 照喜名 辰吾 | (ソーマプライア) |

| | | |
|--------|--------|-------------------|
| FP | 宜野座 寛也 | (東京レキオス BS) |
| | 後藤 将斗 | (プラシア山口) |
| | 河原塚 毅 | (ソーマプライア) |
| | 中村 律臣 | (FC URUMA) |
| | 牧野 真二 | (LEON 福岡) |
| | 田畑 輝樹 | (東京レキオス BS) |
| | 尾田 博文 | (東京レキオス BS) |
| | 當間 正人 | (ソーマプライア) |
| | 浜中 耕史 | (AVENTE OSAKA) |
| | 小牧 正幸 | (SPOSiC SHIZUOKA) |
| | 浅見 和正 | (ソーマプライア) |
| | 松田 圭祐 | (AVANTE OSAKA) |
| | 山内 悠誠 | (G. C. Nerine) |
| | 永瀬 和也 | (VAMOS A LA CASA) |
| | 坂口 健人 | (プラシア山口) |
| | 野田 那緒弥 | (プラシア山口) |
| | 山内 勝貴 | (テハモール) |
| | 波平 涉 | (FC URUMA) |
| | 田中 伸吾 | (テハモール) |
| 計 21 名 | | |

26. ビーチサッカー日本代表 オマーン/ブラジル遠征の件

行事名：ビーチサッカー日本代表 オマーン/ブラジル遠征

期 間：5月1日(火)～13日(日)

場 所：オマーン/マスカット、ブラジル/サンパウロ

[スケジュール]

- 5月1日 (火) PM 集合、出発
- 5月2日 (水) AM 現地着 PM トレーニング
- 5月3日 (木) AM トレーニング PM トレーニングマッチ vs. オマーン代表 ●2-3
- 5月4日 (金) AM トレーニング PM 国際親善試合 vs. オマーン代表 ●1-2
- 5月5日 (土) AM 移動
- 5月6日 (日) PM サンパウロ到着
- 5月7日 (月) AM トレーニングマッチ vs. コリンチャンス ●4-5
- 5月8日 (火) PM トレーニングマッチ vs. FC バルセロナ ●0-3
- 5月9日 (水) PM トレーニングマッチ vs. サントス FC ●3-5
- 5月10日 (木) PM トレーニングマッチ vs. AC ミラン ○3-2
- 5月11日 (金) PM 現地発
- 5月12日 (土) 機中泊
- 5月13日 (日) PM 成田着、解散

[スタッフ]

監 督 ラモス 瑠偉 (公益財団法人日本サッカー協会)

| | | | |
|-------------------|--------------------------------------|-------------------------|----------|
| ドクター | 青戸 克哉 | (筑波大学附属病院) | |
| アスレティックトレーナー | 田中 祐介 | (三宅スポーツマッサージ) | |
| 総務 | 小野 仁久 | (公益財団法人日本サッカー協会 代表チーム部) | |
| [選手] | | | |
| GK | 宜野座 寛也 | (東京レキオス BS) | |
| | 後藤 将斗 | (プラシア山口) | |
| FP | 新垣 隆 | (ソーマプライア) | |
| | 尾田 博文 | (東京レキオス BS) | ※負傷により辞退 |
| | 牧野 真二 | (LEON 福岡) | |
| | 上原 朋也 | (ソーマプライア) | |
| | 田畑 輝樹 | (東京レキオス BS) | |
| | 當間 正人 | (ソーマプライア) | |
| | 鈴木 俊多 | (ソーマプライア) | |
| | 山内 悠誠 | (G. C. Nerine) | |
| | 小牧 正幸 | (SPOSiC SHIZUOKA) | |
| | | | 計 11 名 |
| 27. 女子：特別指定選手制度の件 | | | |
| 選手 | ：浅野 菜摘 (あさの なつみ) | | |
| ポジション | ：GK | | |
| 生年月日 | ：1997年4月14日 / 15歳 | | |
| 所属歴 | ：六浦少年SC [神奈川県]、横須賀シーガルズJOY [神奈川県] | | |
| 所属元 | ：横須賀シーガルズJOY [神奈川県] | | |
| 受入先 | ：JFAアカデミー福島 [静岡県] | | |
| 認定期間 | ：6月1日～11月23日 (なでしこ・チャレンジリーグ入れ替え戦最終戦) | | |
| 認定日 | ：5月30日 | | |